



歲
 且
 正
 心
 物
 力
 桑
 名

特別
 A5
 6673
 80
 早稲田大学図書館



安永六丁酉天

祝旦

天地の不易は信りて自然の
法也天のさあけ
日の影もほやういふ
青陽のうらふ

むらさき



推移る世や

ま、まわ

ま乃ま

海月

と

之旦

明けのぼしをまわす
舟のり

玉のまわすをいれのり
と初もまわす
百子なす
枕

ま、初暁

ま、初暁

ま、初暁

左中

申
山威更り

志がれえやう終に解はん悔のむ 左中
雪の来るふく秋や幸の故 以陸
ちうけよふ拂ふてや 厄も縁も 枕も
志えやのり幸えれとや 小巻 ト琴

大しこれ良乃よふし
高ぶとふたはらふ

初も七汗乃冬新や 海月居

雨
冬節

あつらん
まははは

冬の名や月も
さき井
せえ

申
字
ツ本

雪年々四壁の画もははま
あつらんふく雪の切とけい
もさつらんふく雪の切とけい
了れと雪実むとたてそり
りよも松子類林のそりハ家
あつらんふく雪の切とけい

降ノ松シく雪の富きや
と
の意

きつねの師のりまは
きつねの師のりまは
信ふゆり

おきつねのりまは
きつねの師のりまは

おきつねのりまは
きつねの師のりまは

おきつねのりまは
きつねの師のりまは

おきつねのりまは
きつねの師のりまは

おきつねのりまは
きつねの師のりまは

おきつねのりまは
きつねの師のりまは
おきつねのりまは
きつねの師のりまは
おきつねのりまは
きつねの師のりまは
おきつねのりまは
きつねの師のりまは

文通

おきつねのりまは
きつねの師のりまは
おきつねのりまは
きつねの師のりまは

師の...
...
...
...
...
...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

